

令和3年度 都小国研多摩地区研究会書くこと部 研究提案

令和4年1月28日（金）

都小国研 全体研究主題

未来を拓く国語教育の創造

—評価活動の充実を通して、学びの質を高める単元づくり—

書くこと部 研究主題

「児童の深い学びを目指す、主体的・対話的な書くことの単元づくり」

1 研究主題について

都小国研全体研究主題を受け、書くこと部の研究主題は「児童の深い学びを目指す、主体的・対話的な書くことの単元づくり」と設定した。

「主体的」とは、児童自らが「書いて伝えたい」「書いて表したい」という思いをもちながら取り組む姿であり、書く活動を通して得られる気付きや楽しさを、次の「書く機会」や実生活に生かそうとする姿である。「どのように書いたら相手に伝わるかな」「もっといい書き方はないかな」「このように書けば、よく伝わるんだ」と思考したり判断したりしながら学んで気付きを得ること、そして「自分の思いが相手に伝わってよかった」という実感をもつことが、さらに次の「主体的な学び」へ向かう力になると考えている。

「対話的」とは、児童が書く目的や相手のことを思いながら書く姿や、書くことの題材や書き手である自分自身と向き合う姿、書きたいことについて友達や教師と語り合う姿である。

これら「主体的・対話的」な学習活動が、生きて働く知識・技能を獲得したり、自分のものの見方・考え方が広がり深まったり、書く力の成長を振り返ったりすることのできる「深い学び」につながっていくと考えている。

2 研究内容

(1) 学びの質の向上を図る単元の工夫

① 児童と単元との出会いの工夫（0次の設定）

単元に入る前の書く意欲を醸成する期間として、「0次」を設定する。本単元では、図工科の学習や周年行事との関連を図ったり、学級文庫に随筆の本を置いた環境整備を行ったりして、学習への意欲付けの機会とした。

② 学びを積み重ねる指導

書くことの学習での成果物等を共有し、次の学習への活用を図る。本学級では、これまでの学習事項や文例などを、「作文名人への道」とみんなで名付けたファイ

ルにまとめてきた。ファイルを用いてこれまでの学びを振り返り、今取り組んでいる活動にも生かしていくようにする。

③ 学びの必然性がある課題設定（実の場における活用）

授業だけで学習を終わらせるのではなく、実生活での活用場面を設定し、学びの必然性をもたせる。本単元では、完成させた作品を70周年記念式典で掲示し、多くの卒業生に読んでもらい、旧校舎での思い出を振り返ってもらえるようにした。こうした場を設定することにより、児童が成就感・達成感を味わい、さらに次の学習への意欲をもつことができる。

④ 単元のゴールイメージをもたせる文例の提示

文例の提示によって、児童はこれから書く文章へのイメージをもち、見通しをもって学習に取り組むことができる。また、指導事項を文例に盛り込み、具体的に示すことで、児童はそれらを習得し、自分の文章に活用することもできるようになる。

⑤ 学び合う場の設定

学習過程に、グループでの共有活動を設定する。推敲後の共有だけでなく、情報の収集、内容の検討や、記述、推敲の過程でも、友達との交流・相談タイムをもち、思いや考えが伝わるような表現に向けて互いに学び合えるようにする。

(2) 学習改善・授業改善につながる評価活動の工夫

① 児童が自らの学びを見通し、振り返り、調整することのできる自己評価

「評価シート」を作成することで、児童が単元全体の見通しをもちながら学習に臨めるようにする。また、毎時間振り返りを行い、児童が自己の学びを振り返り調整しながら、次の学習を進めていくことができるようにする。

② 個の学習状況に応じた評価と指導

個々の学習状況を指導者が把握し、個別指導に生かす。特に、概ね満足できる状況を目指す児童には、柔軟な学習過程や対話的な学びを重視し、適切な手立てを用意して指導にあたる。

(3) 言葉の力の活用を意識した学習活動の工夫

① 系統性を重視し、言葉の力の活用を図る学習活動

これまでの学習で培ってきた言葉の力（題名の工夫、選材の仕方、類語辞典を活用した表現の吟味など）について児童に示し、それらの力を本単元で活用できるようにする。

② 言葉の力の活用を図るための環境整備

類語辞典や1人1台のパソコン端末など、必要に応じた学習材を用意する。

3 研究経過

※感染症拡大防止のため、オンラインでの部会開催や、メールを活用した指導案検討を行った。

8月 2日(月) 第1回部会(オンライン)

・研究主題について ・研究授業者決定 ・研究授業内容検討

9月 3日(金) 第2回部会(オンライン)

・学習指導案検討

10月 8日(金) 第3回部会(国分寺市立第五小学校)

・学習指導案検討

12月 20日(月) 第4回部会(国分寺市立第五小学校)

・学習指導案検討

1月 28日(金) 第5回部会(国立市立国立第二小学校、オンライン併用)

・研究授業、研究協議会(講師:都小国研顧問 成家亘宏先生)